

## 2学期が始まりました！

30日間の長い夏休みが終わり、8月25日（月）いよいよ2学期が始まりました。子どもたちの元気な声が学校に戻り、活気に満ちた日々が再開しています。

始業式では、校長先生から「2学期が一番長い学期です。今は暑いですが、終わるころには雪が降って寒くなります。体に気をつけて元気に過ごしてください。また、学習発表会や宿泊研修等の行事もあります。準備をしっかりと進めましょう。」というお話がありました。子どもたちは真剣な表情で耳を傾け、新しい学期への期待に胸を膨らませている様子でした。また、6年生の荒木健冨さんが児童代表として、夏休みの思い出と2学期に向けての抱負を立派に発表しました。

始業式の後、教室に戻った子どもたちは、さっそく2学期の目標を立てたり、夏休みの思い出を語り合ったりと、それぞれが新しいスタートを切っていました。クラスによっては、係や当番を決め、自分たちがより過ごしやすい環境を作ろうと、活発な話し合いが行われていました。

今学期も、子どもたちが様々な活動に意欲的に取り組み、大きく成長してくれることを願っています。保護者の皆様には、今学期も引き続き、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 万が一に備えて…集団下校の訓練

8月27日（水）、災害や不審者情報など、万が一の事態に備え、全校で集団下校訓練を実施しました。各地区、バス通学、そして学童に通っている子どもたちが、それぞれ担当の先生の指示に従い、整列して行動することができました。

2回目ということもあり、子どもたちは、先生の指示をよく聞き、静かに素早く行動することができていました。高学年の子どもたちが、低学年の子どもたちに優しく声をかけたり、並ぶ場所を教えたりする姿も見られ、とても頼もしく感じました。

今回の訓練で、子どもたちは緊急時にどのように行動すればよいか、改めて確認することができました。学校でも、日頃から安全教育に力を入れていますが、ご家庭でも、いざという時の避難経路や、緊急連絡先などについて、お子さんと話し合ってみてください。



## 熱中症・クマにご用心

朝晩は気温がだいぶ下がるようになってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いています。また、市街地を含めて、畑などでのクマの目撃情報も夏休みからずっと続いています。学校では、子どもたちが安全で健やかに日常生活を送れるよう、ご家庭・地域と連携していきたいと思えます。何かあった際には、安心メールで情報を共有し、場合によってはご協力をお願いすることもありますので、よろしく願いいたします。



## 今後の主な行事について

- |     |        |             |
|-----|--------|-------------|
| 10月 | 18日（土） | 学習発表会       |
|     | 20日（月） | 振替休業        |
|     | 23日（木） | 小5中学校登校     |
|     | 30日（木） | 宿泊研修（～31日）  |
| 11月 | 17日（月） | 小6中学校登校     |
| 12月 | 4日（木）  | 参観日         |
|     | 5日（金）  | 開校記念日       |
|     | 25日（木） | 終業式         |
|     | 26日（金） | 冬休み（～1月14日） |
| 1月  | 15日（木） | 始業式         |
| 2月  | 10日（火） | 1日入学        |
|     | 20日（金） | 参観日         |
| 3月  | 19日（木） | 卒業式         |
|     | 26日（木） | 修了式         |

※1～2月にはスキー学習を予定しています。詳細な日程は今後お知らせします。



# 厚小通信



## 学校教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- がんばりぬく子ども
- じょうぶな子ども

Tel64-3042 Fax64-3062

## 体験する学びで育つ子どもたちの力

校長 久慈 学

夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今年の夏も非常に暑い日が続きましたが、始業式では全校児童が体育館に集まり、校歌を大きな声で歌うことができました。朝の涼しい時間帯、子どもたちの声が体育館いっぱいに響き渡り、私も大変うれしく感じました。

コロナ禍を経て、私たちは「集まること」「顔を合わせること」の大切さをあらためて実感しました。しかし一方で、暑さへの配慮や時間の効率化を考えると、学校行事の「簡素化」は避けられない流れになっています。たとえば参観日での「校長あいさつ」を各教室への配信で行っているのも、その一例です。

けれども効率ばかりを優先すると、子どもたちが本来育むべき「五感」や「豊かな感性」を失ってしまう危険性があります。デジタルかアナログかという二者択一ではなく、両方をうまく組み合わせ活用していくことが大切だと考えています。

さて、2学期は一年で最も長い学期です。子どもたちが大きく成長するこの時期、学校では教室内の学習にとどまらず、地域や校外の教育資源を活用した学びを積極的に取り入れています。

8月・9月の予定だけを見ても――

- ・ 5年生 理科「川の流れ」見学学習
  - ・ 3年生 総合「あすなるパン工場見学」
  - ・ 2年生 食育「おにぎりづくり体験」「農作業体験」
  - ・ 1～6年 農協青年部との交流給食
  - ・ 4年生 鮎の体験学習
  - ・ 全校 劇団四季ミュージカル観覧（江差町）
- など、たくさんの方が活動が計画されています。

「安全・安心や効率」を第一に掲げるならば、すべてを校内で完結させることもできます。しかし、小学生という成長段階にとつて、実際に「見て、触れて、感じる」体験は欠かせません。厚沢部の豊かな自然や地域の方々とのお会いは、子どもたちにしかできない貴重な学びとなります。この自然豊かな厚沢部においても、子どもたちは仮想空間、ネット空間で過ごす時間が多くなっているのでは、と懸念します。

子どもたちが互いの体温を感じながら学ぶこと。そうした体験こそが、生きる力を育み、子どもたちの幸せ（ウェルビーイング）につながるのだと、私は信じています。2学期も、保護者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの豊かな学びを進めてまいります。どうぞよろしく願います。